

②周辺環境モニタリングの 結果について

対策工事中のモニタリング結果

周辺環境への影響を把握するため、次のとおりガス等、水質等および騒音・振動・粉じんのモニタリングを実施した。

項目		内容	頻度
ガス等	悪臭調査	敷地境界での悪臭(硫化水素濃度)確認	年4回
	発生ガス調査	事案地内のモニタリング井戸における発生ガス調査] (硫化水素、メタン、二酸化炭素、発生ガス量、孔内温度)	年4回
水質等	地下水調査	事案地内、場外モニタリング井戸における地下水調査及び影響確認 (水位、水温、硝酸・亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン、BOD等)	年4回
	河川水、浸出水、湧水等調査	周辺河川水等への影響確認 (硝酸・亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン、BOD等)	年4回
	保有水調査	事案地内モニタリング井戸における保有水調査 (水位、水温、カドミウム、シアン、鉛、BOD等)	年4回
騒音 振動 粉じん	騒音・振動・粉じん調査	敷地境界での騒音・振動・粉じん調査	作業日

対策工事中のモニタリング結果

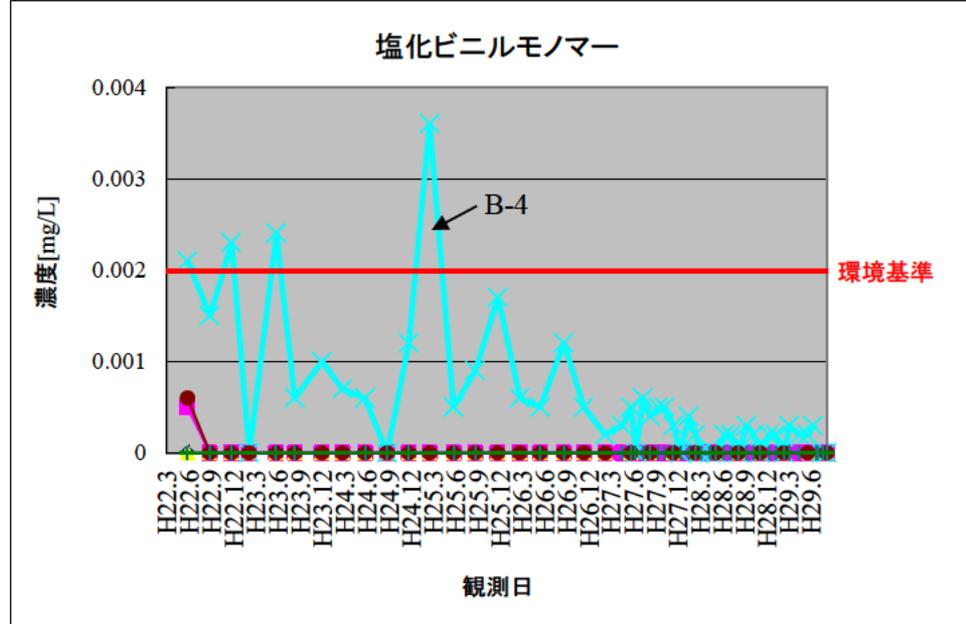
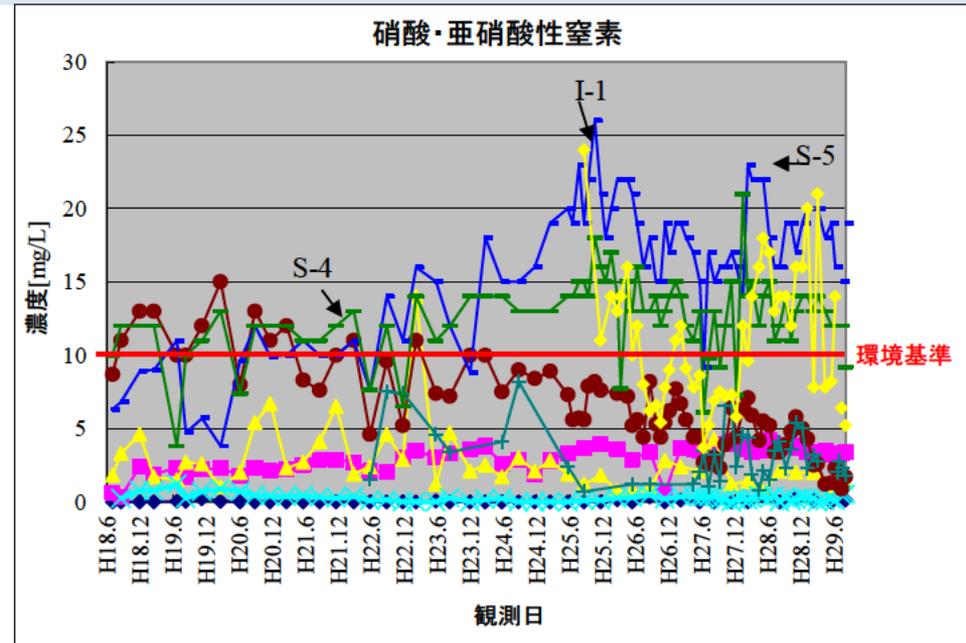
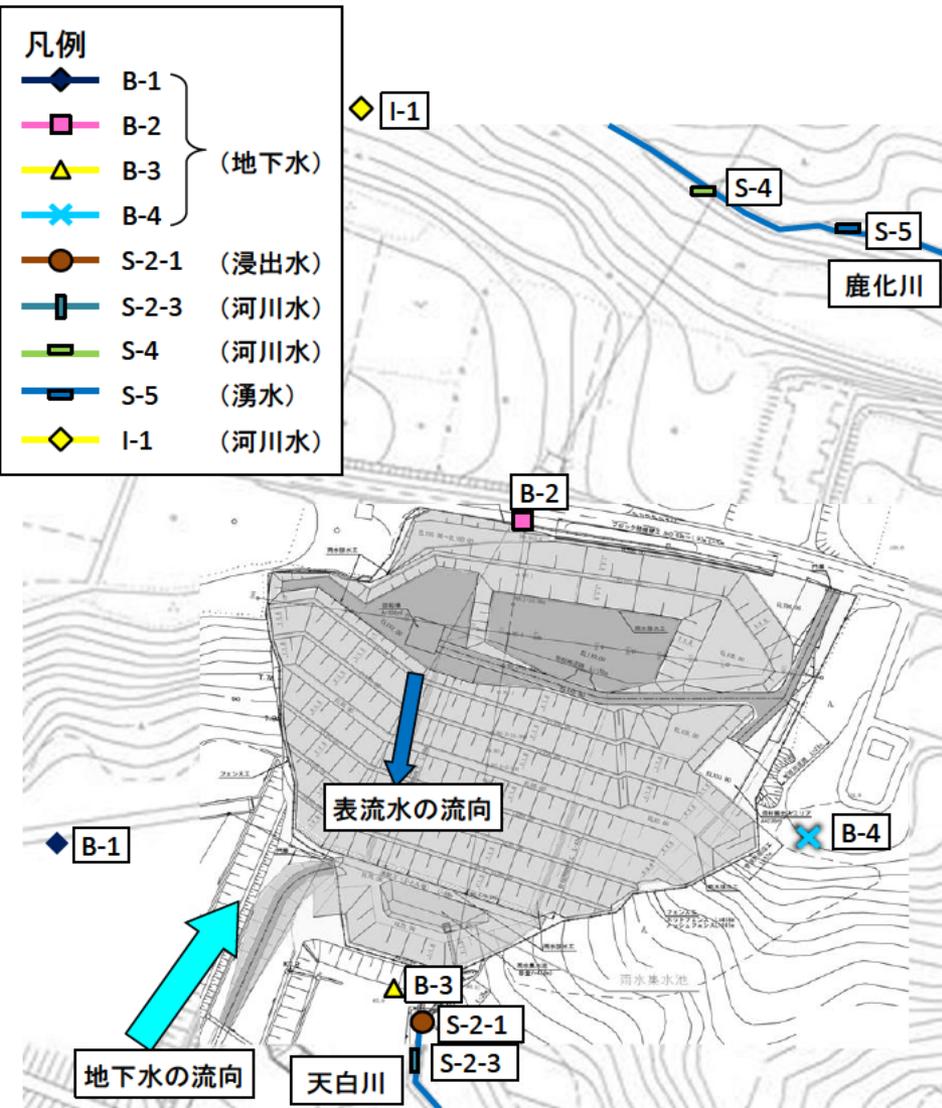


表 事案地周辺の地下水、河川水等のモニタリング結果 (1 / 3)

対策工事中のモニタリング結果

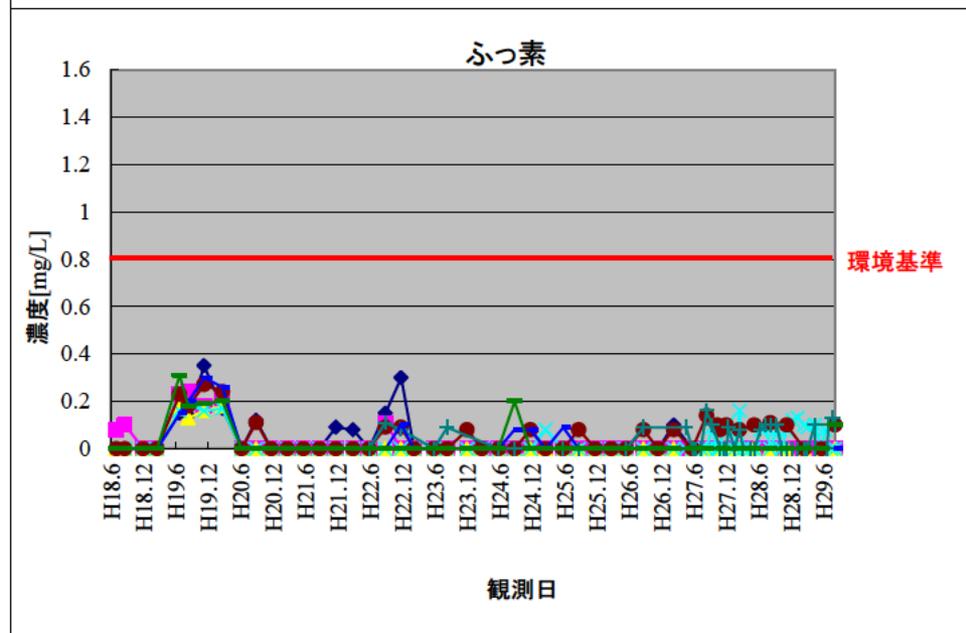
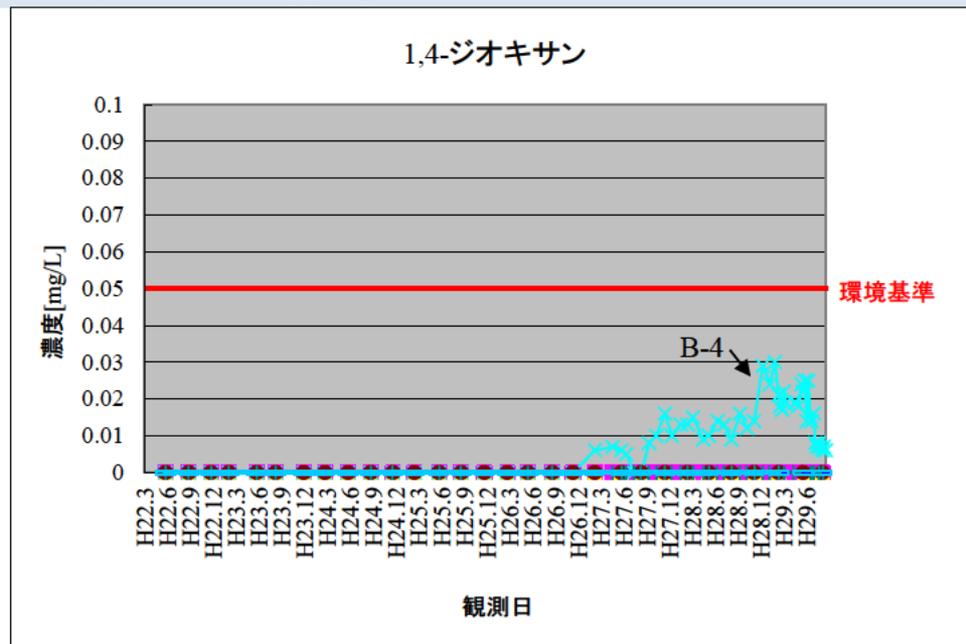
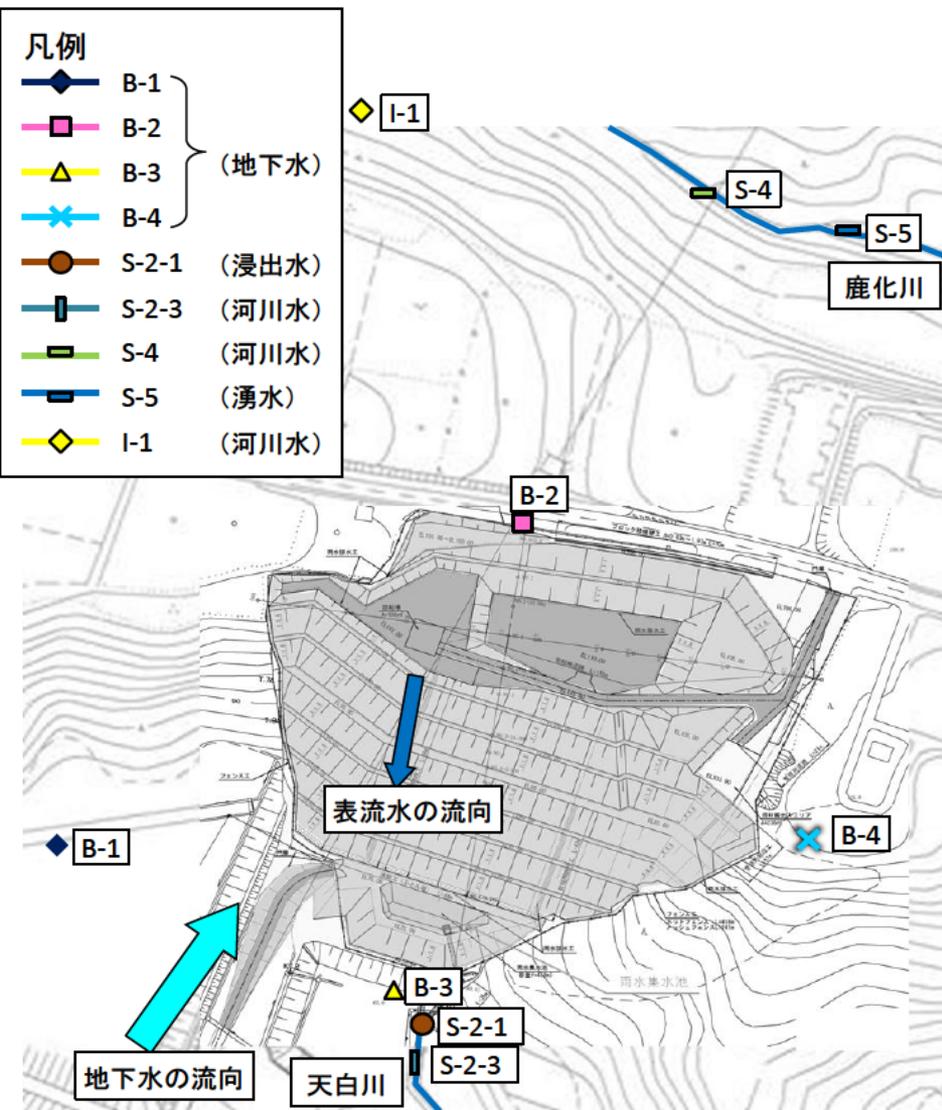


表 事案地周辺の地下水、河川水等のモニタリング結果 (2 / 3)

対策工事中のモニタリング結果

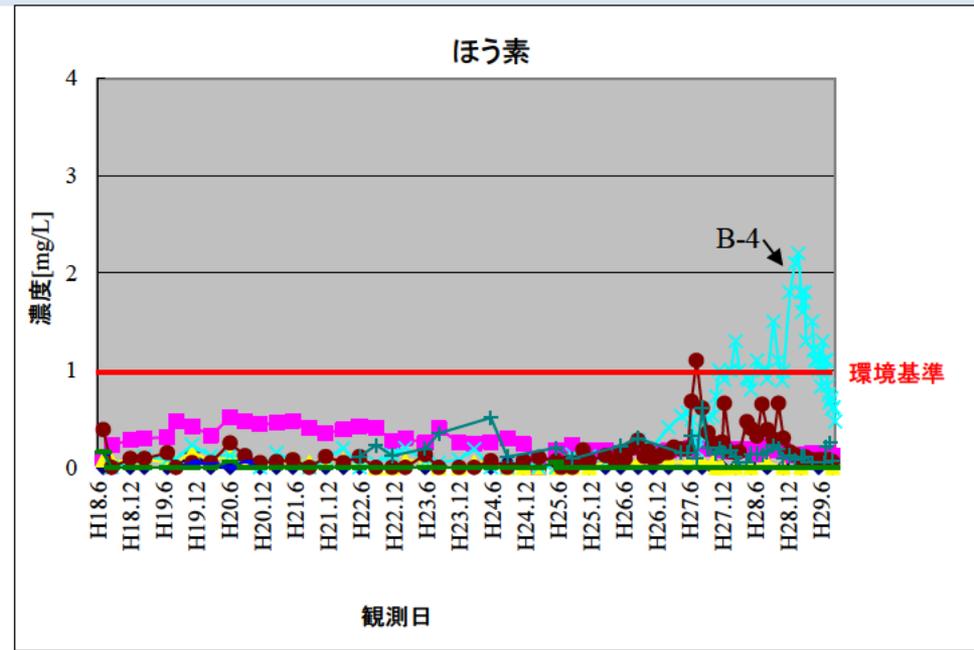
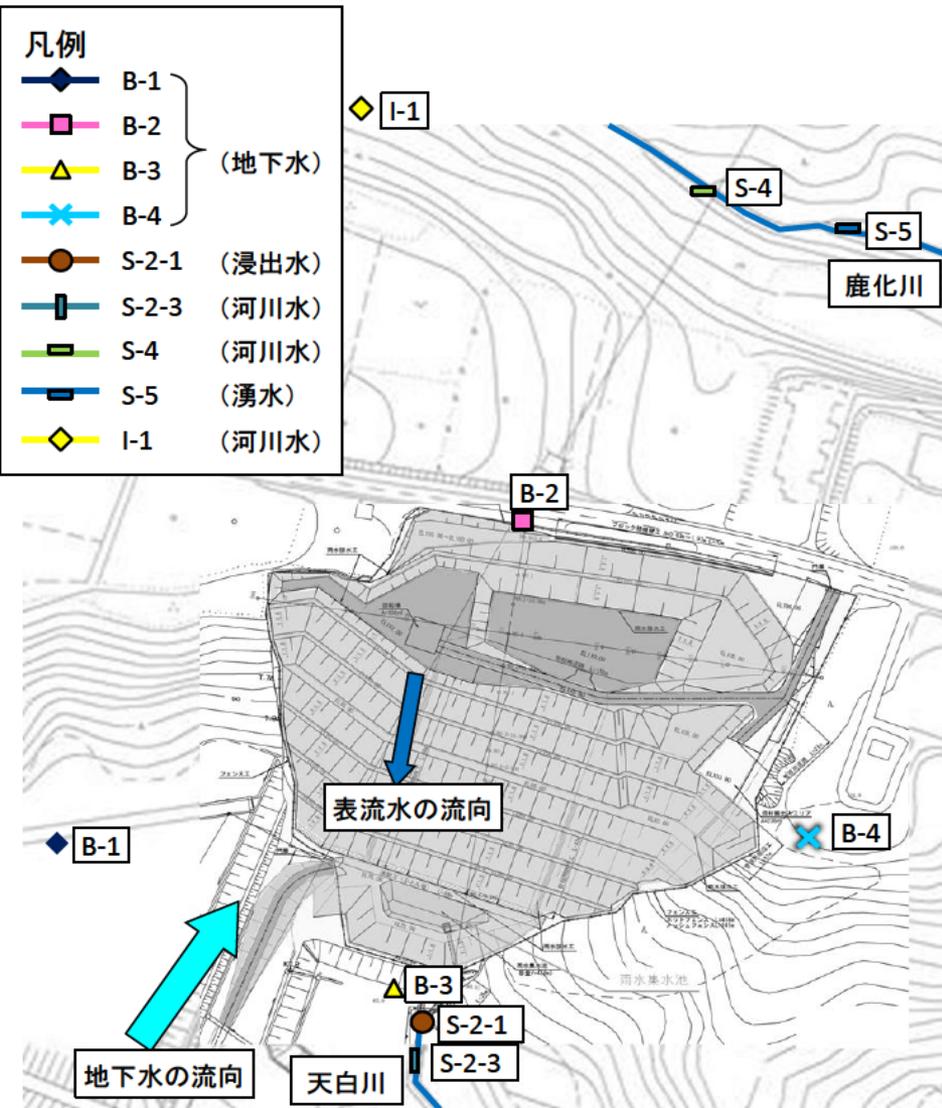


表 事案地周辺の地下水、河川水等のモニタリング結果 (3 / 3)

対策工事中のモニタリング結果

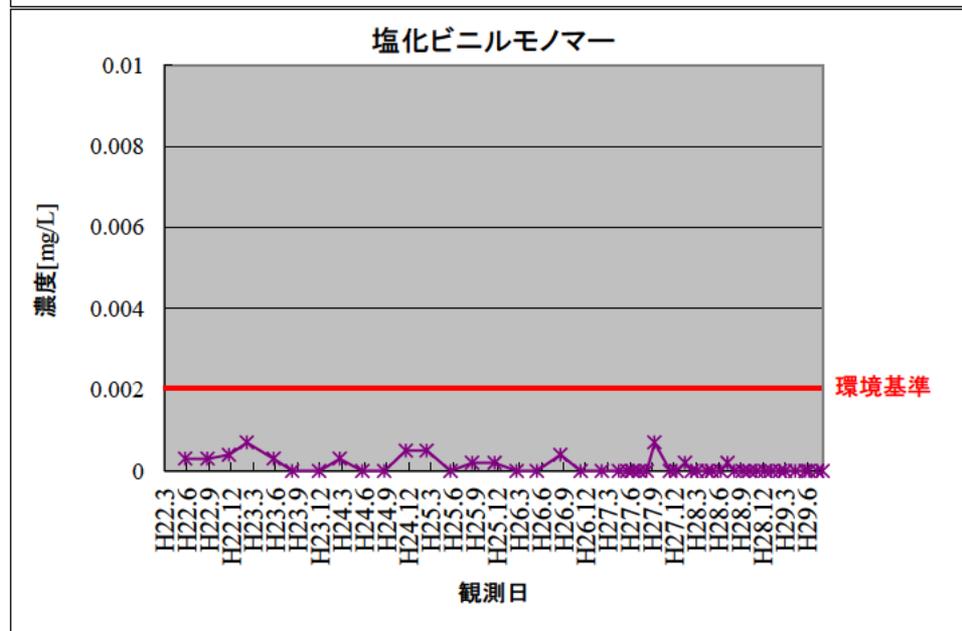
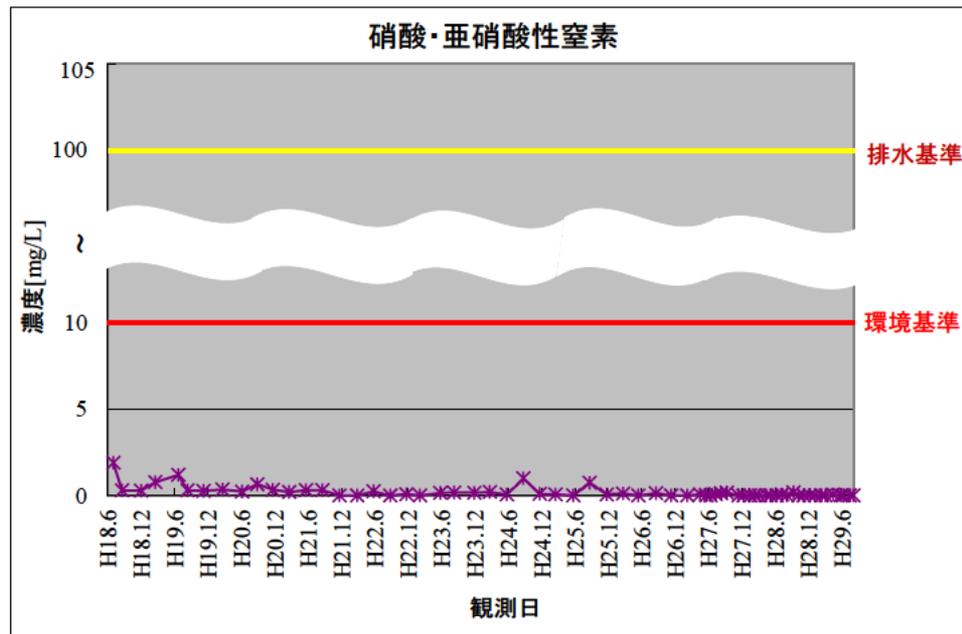


表 廃棄物層下部の地下水 (b-5) のモニタリング結果 (1 / 3)

対策工事中のモニタリング結果

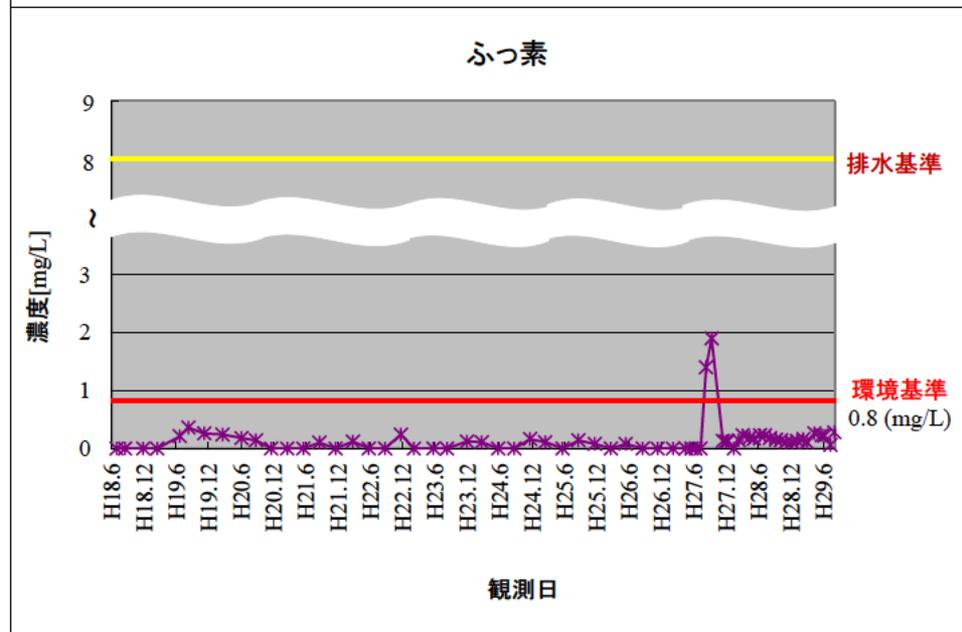
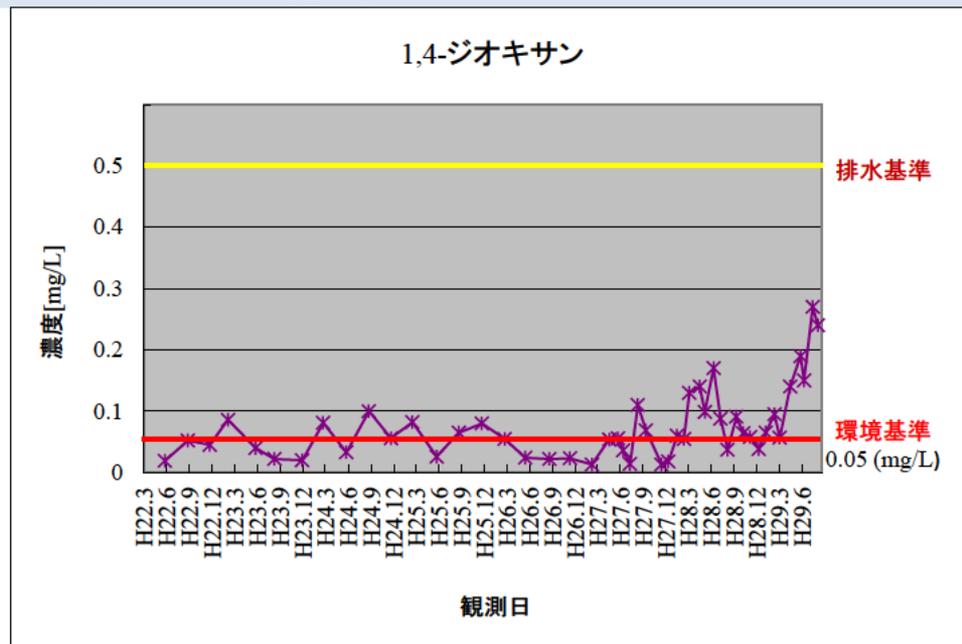


表 廃棄物層下部の地下水 (b-5) のモニタリング結果 (2 / 3)

対策工事中のモニタリング結果

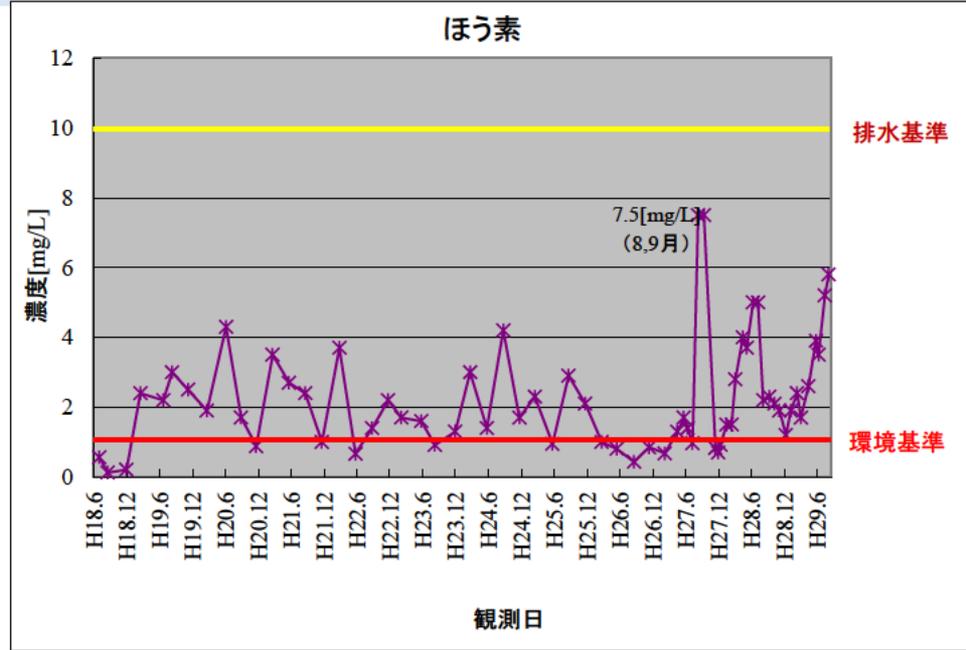
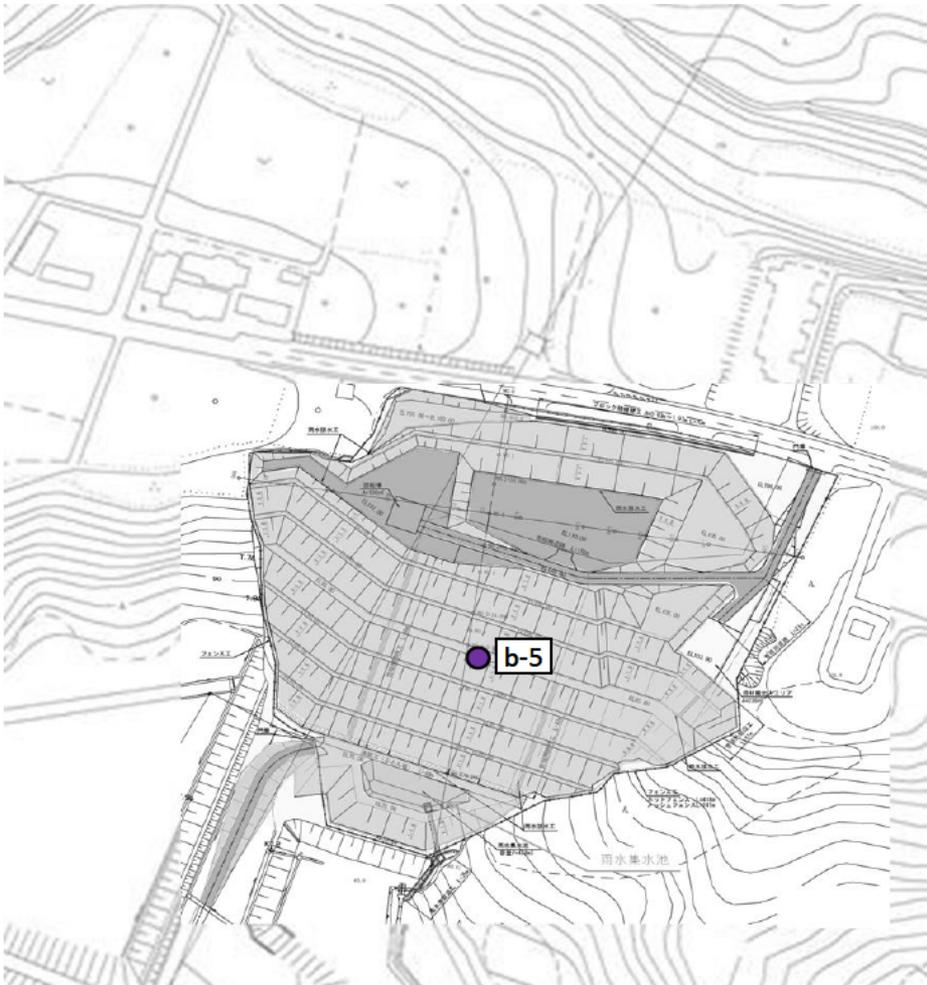


表 廃棄物層下部の地下水 (b-5) のモニタリング結果 (3 / 3)

対策工事中のモニタリング結果

対策工事中のモニタリング結果(ガス等、水質および騒音・振動・粉じん)は次のとおりであった。

項目		内容
ガス等	悪臭調査	①硫化水素の発生は抑制されており、敷地境界におけるモニタリング結果はすべて0.02ppm未満であった。このことから硫化水素による生活環境保全上の支障は生じていない。
	発生ガス調査	②ガス発生量(1L/min以下)および孔内温度(おおむね30℃)の上昇が抑制されており、地中の廃棄物の分解反応はゆるやかに進行していると推察される。 ③事案地内の調査井戸孔内におけるメタン濃度が爆発限界(5~15%)を超えている。ただし、構造上メタンが滞留する状態にないことから、メタンによる生活環境保全上の支障は生じていない。
水質等	地下水調査	④敷地境界の地下水(B-4)において、整形覆土工の影響とみられる一時的なほう素の上昇が認められた。継続的に下降傾向にあり、平成29年7月以降は環境基準に適合している。 ⑤廃棄物層下部の地下水(b-5)において1,4-ジオキサンおよびほう素が排水基準値以下であるものの環境基準値を超えて検出されているが、上昇傾向が認められるため、引き続きモニタリングにより傾向を把握していく。
	河川水、浸出水、湧水等調査	⑥地下水の水温および水位に顕著な変動は認められず、おおむね北東方向に流下している。 ⑦鹿化川において硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準値を超過する傾向がみられるが、当該地域周辺の地域性と考えられる。
	保有水調査	⑧保有水の水質に異常は認められない。また、水温および水位に顕著な変動は認められない。
騒音 振動 粉じん	騒音・振動・粉じん調査	⑨モニタリング結果はすべて管理基準値以内であった。